

## 中高生、地域貢献を発表

秋田市 県社福協の助成活用



中高生が取り組んだ地域貢献活動の発表会

県社会福祉協議会の助成事業などを活用して地域貢献に取り組んだ中学、高校、特別支援学校による発表会が1月29日、秋田市の県社会福祉会館で開かれた。8校の生徒の代表が壇上やオンラインで活動を報告し、八戸学院大健康医療学部吉田守実学部長が講評した。

大館桂桜高校の生徒は、認知症の人やその家族が抱える不安を和らげる場を提供する「桂桜オレンジカフェ」に携わった活動について発表。社会貢献への意欲向上につながったなどとした。

秋田修英高校の代表は高齢化などにより耕作放棄地が増えている地域での農業体験を通じ、やりがいや責任、協力の大切さなどを学んだと説明。「少しでも地域が元気になればという思いで取り組んだ」と話した。

車いすのリサイクルに取り組んだ大曲工業高校のメンバーは、技術を身に付けるだけでなく、安心な暮らしの大切さを実感し、福祉の目を養ったとした。